



# 個別性を追求する看取りケアの実践と現状

～なぜ看取りケアに個別性が 필요한のか？～

株式会社 ハンドベル・ケア  
介護付有料老人ホーム アイムス赤羽

画一的な看取りケアではなく、  
個別性を尊重した看取りケアを  
チームケアで取り組む事により、  
その方にとって良い影響や刺激を与える事、  
個別性の重要性を証明する。

# 研究目的



# 研究方法・背景



## 対象背景：

O氏・75歳・女性

要介護度 5

主疾患：パーキンソン病（発症2006年）

右小脳出血・高次脳機能障害

経歴：専業主婦（結婚前はモデル）

家族構成：夫、長男夫婦、長女夫婦、孫、姉

入居前、病院では食事がほとんど取れず。  
胃瘻造設の話が出たが、本人と家族の強い意思で  
胃瘻造設は希望せず。  
お看取りを視野に入れた当施設への入居が決まった。



## 研究期間：

2018年8月31日～2022年3月1日

## 研究方法：

本人・家族の希望とする内容を聞き取り実現に向けてチームケアで取り組む。  
実際に取り組んだ事柄をプロセスレコードを活用し、振り返り、影響や変化の有無を確認する。



# 要望・希望

～その人らしさ・個別性を知る～

# 要望・希望 ワード1

美味しい物が食べたい 美味しい物を食べさせてあげたい

- 「プリンが食べたい」 「プリンを持ち込みたい」
- 「アイスが食べたい」 「アイスを持ち込みたい」
- 「果物が食べたい」 「ぶどう、苺、メロン等食べさせたい」
- 「お肉が食べたい」 「ステーキを食べさせてあげたい」
- 「魚が食べたい」 「刺身を食べさせてあげたい」

**抽象的な訴えから、具体的な訴えに変化**



- 「〇〇ホテルの某ブランドのチョコレートが食べたい」
- 「〇〇の所の焼肉弁当が食べたい」
- 「よく食べていたマンゴープリンが食べたい」





## 要望・希望 ワード2

外出・外泊したい 外出・外泊させてあげたい

「自宅に帰りたい」 「自宅に少しの時間でも帰らせてあげたい」  
「自宅に泊まりに行きたい」 「自宅に外泊は出来ないだろうか」

**体調面を考慮し、まずは自宅に外出・外泊を実施**



「よく行っていた〇〇ホテルにお茶しに行きたい」  
「〇〇のデパートでお買い物が見たい」  
「夫婦で行った思い出の海に行きたい」  
「海外旅行（ハワイ）または国内旅行（沖縄）に行きたい」

# 要望・希望 ワード3

お洒落したい お洒落させてあげたい

「お洒落がしたい」 「いつも綺麗な家内（母）でいてほしい」  
「お出かけしなくてもお化粧したい」 「この口紅を塗ってあげてほしい」  
「お出かけしなくてもお洒落な服が着たい」 「この服を着せてほしい」  
「自宅に居た時から使っていたシャンプー・リンスを使いたい」

**当施設のサービスだけではなく、外部による依頼も許可**



「髪の毛を染めたい」…昔からの馴染みのある美容師を出張依頼  
「ネイルがしたい」…以前より担当していたネイリストに出張依頼





# 要望・希望 ワード4

家族と過ごしたい ○氏と一緒に過ごしたい

「家族の顔が見たい」 「もっと家族と過ごしたい」  
「姉に会いたい」 「姉の住む自宅に行ってみたい」

○○に会いたい等の要望から○○を家族としたい等の要望へ変化



「自分の誕生日は家族と過ごしたい」  
「孫の誕生日会に参加したい」  
「お正月を自宅で家族と一緒に過ごしたい」  
「家族との思い出の残る場所に行きたい」

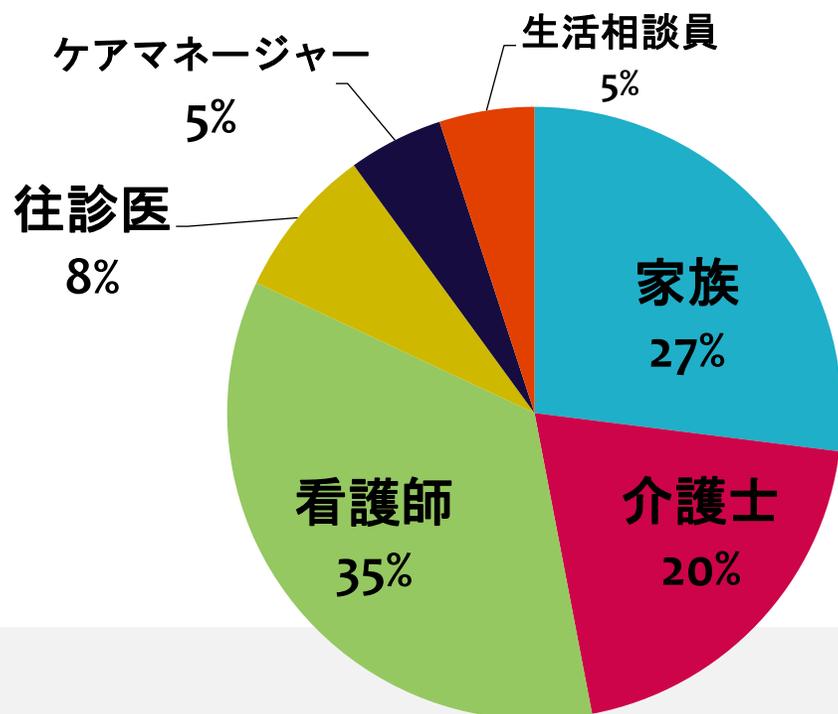


# チームケアの取り組み

～要望・希望に寄り添う～

# 事例 1 「家族と一緒に旅行（外泊）に行きたい」

※本来はハワイ旅行又は沖縄旅行を希望されていたが、様々なリスクを考慮し、熱海旅行に2泊3日、外泊された。



## 【今回の要望で実際に携わった関係者（チーム）とその内容】

家族・・・旅行の同行、当日までの準備や施設との連絡のやりとり

介護士・・・当日までの体調管理、衣類等の外泊準備、  
家族との連絡のやりとり、外泊手続き書類提出

看護師・・・当日までの体調管理、旅行の付き添い（見守り）、  
旅行中の排泄等の介助、家族との連絡のやりとり

往診医・・・安全な旅行が可能かの判断、薬の調整、  
施設との連絡のやりとり

ケアマネージャー・・・家族との連絡のやりとり

生活相談員・・・家族との連絡のやりとり

# プロセスレコード

～要望・希望を振り返る～

## ※プロセスレコード 一部抜粋

日時	出来事	O氏	ご家族	職員	職員の言動の理由
2019. 7.29	<b>熱海旅行に外泊で 家族と行かれる。</b>	「家族と旅行に行きたい」 「海外に行きたい」 「少し遠出したい」と発言あり。	「家内に旅行に行かせてあげたい」 「ハワイは無理かな？」 「沖縄は無理かな？」と発言あり。	「先生と相談してみましよう」 「ご希望には沿いたいたですが、海外は遠いので、異常があった際の様々なリスクを考えると現状難しいと思われます」 協議した結果、師長が付き添いで対応する事で熱海へ行かれた。	本人やご家族様の希望に寄り添い、後悔のない生活を送ってほしい。 行ける時にできる所は行かせてあげたい。
2019. 10.5	ご自宅以外での外出をされるようになる。 <b>池袋のデパートにご家族様とショッピングに行かれる。</b>	「自宅以外の所にも行きたい」 「おしゃれがしたい」 「お化粧がしたい」 「買い物したい」と発言あり。	「よく行っていたお店に行かせてあげたい」 「メイクやブランドの服を着て外出させたい」と発言あり。	「元気な内に行ける所は行かせてあげたいです、協力します」「メイクはスタッフが出来ればします」と会話。	モデルだった頃の思い出を感じ、いつまでも素敵な姿でいたいという思いを感じ取った。元気でお出かけ出来る時にできる所は行かせてあげたい。
2019. 10.18	ご自宅以外での外出をされるようになる。 <b>〇〇ホテルにご家族様と外食に行かれる。</b>	「夫婦の思い出の場所に行きたい」 「よく行った場所に行きたい」 「贅沢な食事を楽しみたい」 「外食したい」と発言あり。	「家内が望む事をしてあげたい」 「元気な内に色々な所に連れて行ってあげたい」 「一緒に過ごしたい」と発言あり。	「元気な内に行ける所は行かせてあげたいです、協力します」「家族との食事楽しみですね！」と会話。	思い出のあるホテルでの外食を家族と一緒に過ごしたいという強い要望があり、叶えたいと思った。
2019. 11.9	ご自宅以外での外出をされるようになる。 <b>海にご家族様と行かれる。</b>	「海に行きたい」 「家族と行きたい」と発言あり。	「家内が望む事をしてあげたい」 「家内に海を見せてあげたい」 「一緒に過ごしたい」と発言あり。	「元気な内に行ける所は行かせてあげたいです、協力します」「気を付けて行ってきて下さいね」会話。	本人やご家族様の希望に寄り添い、後悔のない生活を送ってほしい。 行ける時にできる所は行かせてあげたい。
2019. 12.3	<b>お孫様の誕生日を自宅でお祝いする。</b>	「孫の誕生日をお祝いしてあげたい」 「自宅で祝いたい」と発言あり。	「今度の孫の誕生日を自宅でお祝いさせてあげたい」 「グランマに自宅に来てお祝いして欲しい」と発言あり。	「楽しみにされているみたいです」 「いってらっしゃい」とお見送りする。	家族と過ごす大切な時間をサポートしてあげたい。
2020. 1.1~4	<b>お正月を家族と（自宅で）一緒に過ごしたい</b>	「お正月は家族と過ごしたい」 「自宅に行きたい」 「いつも食べていたおせち料理等を食べたい」と発言あり。	「お正月を自宅に連れて帰って過ごす事は出来ないかな？」「よく食べていたおせち料理を食べさせたい」「家内が望む事をしてあげたい」と発言あり。	「家族で過ごす事が嬉しいとおっしゃっていたので是非」 「楽しんできてください」と会話。	家族と過ごす大切な時間をサポートしてあげたい。

# 要望・希望の発言回数と実施回数 比較表 ※月単位平均

	発言回数	実施
ワード1 食事	68	21
ワード2 外出・外泊	41	10
ワード3 お洒落	28	9
ワード4 家族交流	13	10

- ・プロセスレコードで振り返ると、様々な要望が多く見られた。

その中でも沢山の訴えが多い事、または強い思いを感じる事柄を優先してチームケアで実現させた事により、笑顔やADLに変化を与えた。

- ・入居当初の単純な要望や希望を繰り返し実現させる事で、家族や本人もより高い希望や要望を抱く様に変化が見られた。

お看取りの状況下でも目標を持って、楽しい時間を提供する事は可能という事が証明できた。

- ・チームケアで取り組む事により、個別性のニーズを引き出しやすく、本人だけではなく家族との信頼関係が築け、情報共有へと繋げる事が出来た。

# 成果・結果



# 考察・まとめ



・その方の望む希望にどれだけ寄り添い、どの様に支援していくのかを、チームでどうアプローチするか、どう働きかけるか考え、行動する事でチームケアは単独で行うケアとは比較にならない程、サービスの質に差があった。その方の笑顔が生活の中で増加した事、家族が喜んで感謝いただいた事から目的であるチームケアで取り組む事で個別性を尊重した看取りケアは提供出来た。この事でケアスタッフのチームとしての組織力も高める結果となった。胃婁造設による延命治療はせずとも本人や家族の思いを尊重し、希望に沿う事で食べられなかった食事が食べられるようになり、身体状況の変化もみられた。



ご清聴ありがとうございました

